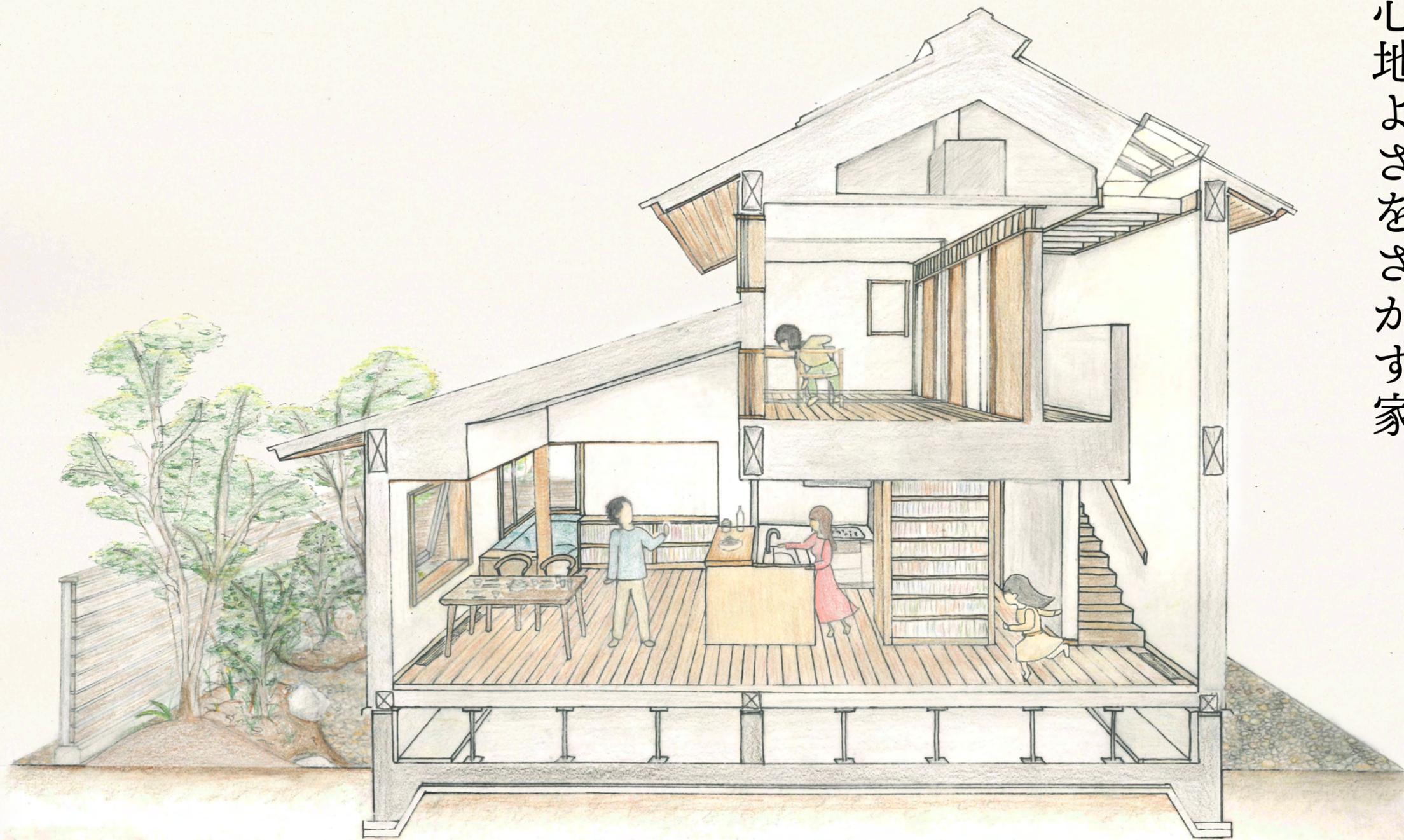


心地よさをさがす家



たろう

「カレーの匂いする、お腹すいたなあ…」

ひろし

「たろう！ご飯できたぞ降りてこーい！」

あおい

「私のカレー大盛ね！」

ゆうこ

「はいはい。カレーは逃げないから走らないの。」

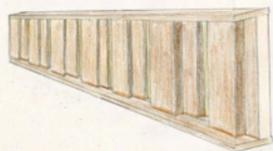
1. 心地よく暮らせる環境とは

心地よく暮らせる環境とはどんな環境でしょうか。

暮らす人、時間、季節、そして気分によってさえ心地よい環境は変わってきます。

その環境を整えるには温熱環境をはじめとして、場合によっては周りを取り囲む空気感のようなものまで調整する必要があるかもしれません。

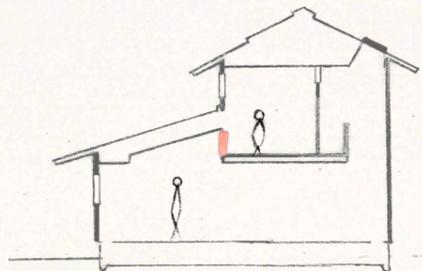
そこで、建具の開け閉めの組み合わせにより、温熱環境、さらには気配の感じ方で調整できる、そんな可能性を持つ家を提案します。



2. 空気の通り道としての無双窓

空気の通り道として1階と2階の間に無双窓を設けます。

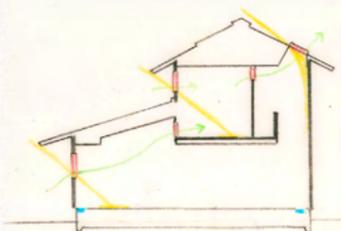
この無双窓は閉じることにより、個室を閉鎖的な空間とすることができる一方で、開くことによって、家全体の空気の流れを調整することができます。



2-1. 中間期

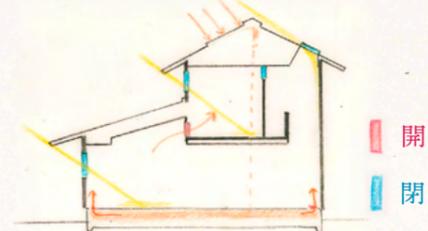
中間期には、全ての窓を開けることによって、外部の空気が1階のLDから2階の個室を通り抜け、北側の天窗まで抜けて行きます。

また、リビング東側のデッキで、屋外の空気に包まれながら暮らすこともできます。



2-2. OMソーラー稼働時

OMソーラーの稼働時には、外壁に面する窓を閉じ、1階と2階の間の無双窓を開けることにより、1階の床下からの暖気が2階の個室へと行き渡ります。

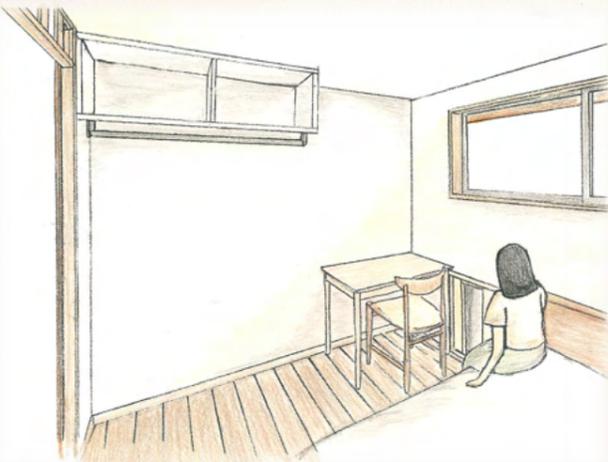


3. 気配の通り道としての無双窓

無双窓は、空気の通り道であると同時に、気配の通り道でもあります。

開けているときは、1階での家族の声や物音、料理の匂いなどが無双窓を通じて2階の個室に入り込み、個室でありながらも家族の気配を感じることができます。

温熱環境と気配、それぞれの感じ方によって、暮らす人が自身の環境を調整しながら住みこなしていく。この家では、そんな暮らし方ができるのではないのでしょうか。



子供室 地窓から入ってきた空気が欄間へと抜けていく。



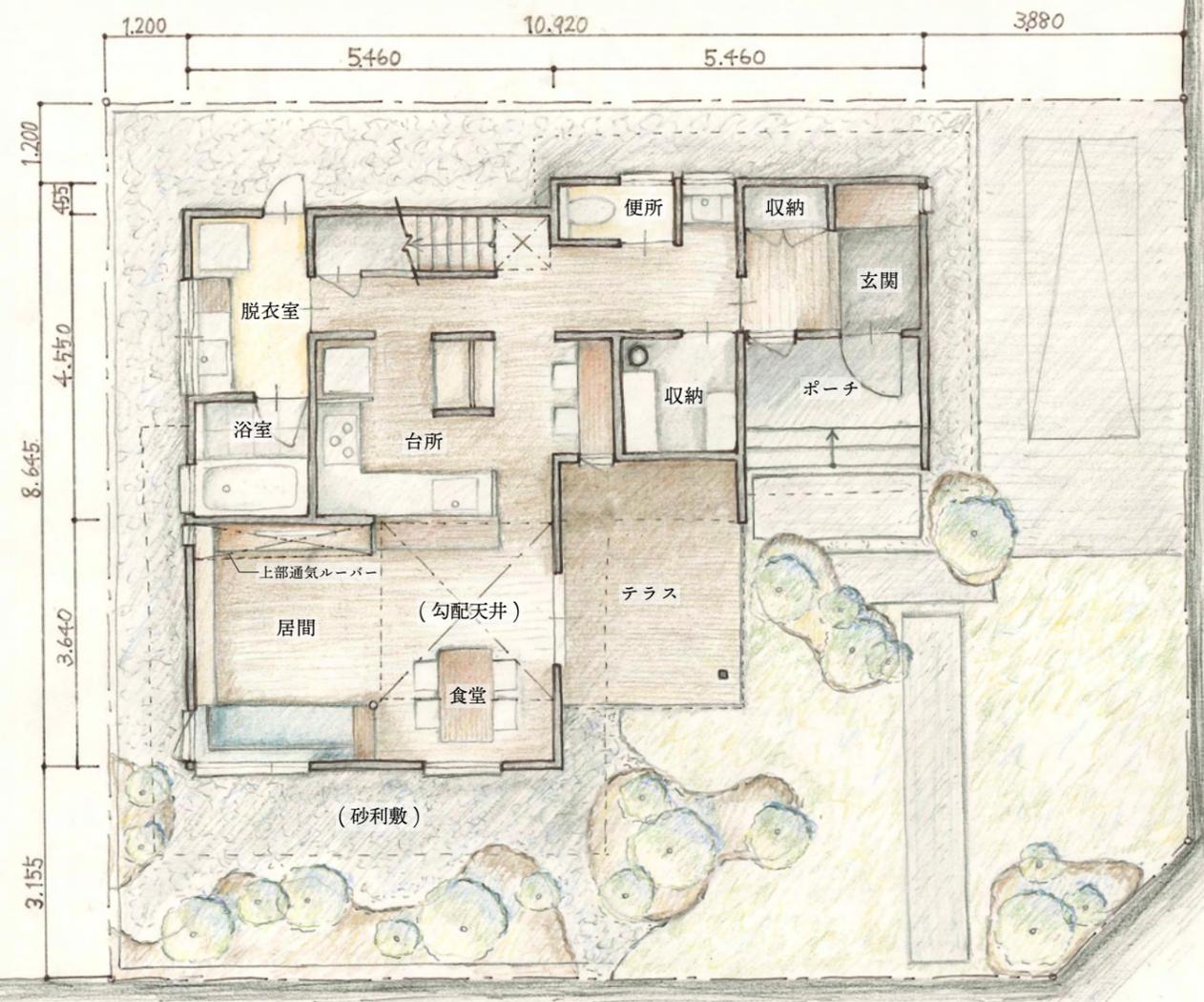
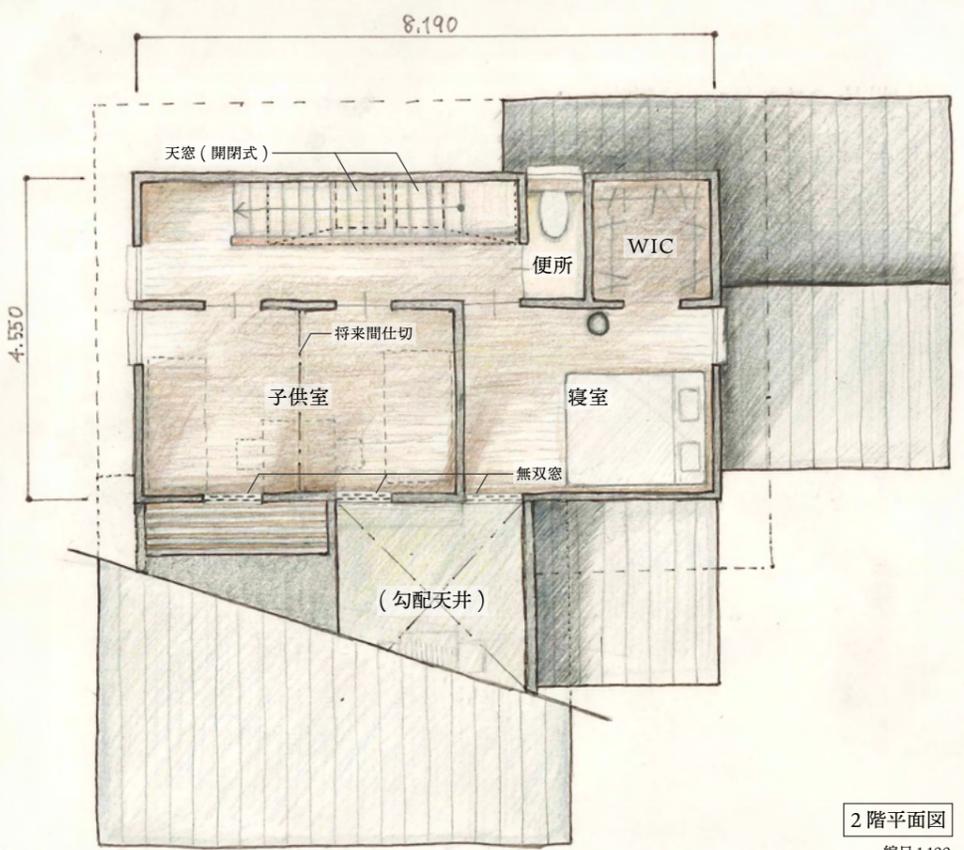
LDK 2階の子供の気配を感じつつ、リビングでくつろぐ。



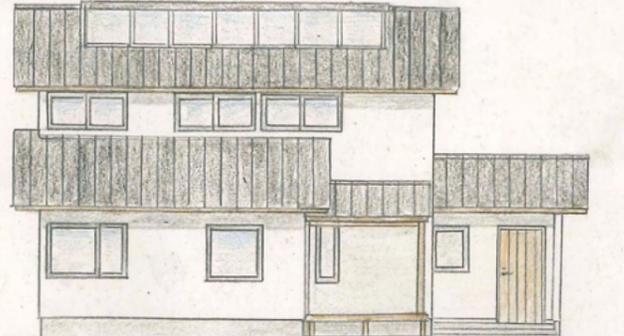
LDK+ デッキ 季節により、心地よく暮らせる場所が変化する。



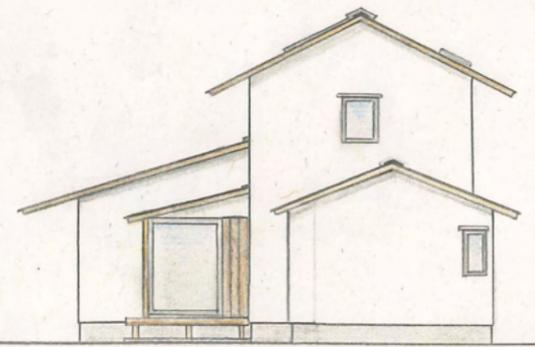
居間 相手が家のどこにいても、その気配を感じられる。



外観イメージ



南立面図
縮尺 1:150



東立面図
縮尺 1:150



面積表		
敷地面積	建築面積	延床面積
205.98 平米	64.59 平米	97.29 平米
62.30 坪	19.53 坪	29.43 坪